

高崎市地域福祉通信

第 10 号

平成20年10月8日発行

「地域福祉活動計画素案」について話し合いました

今回の会議では、まず全体討議を行い、地域福祉(活動)計画全体のキャッチフレーズを決めました。

その後、前回会議と同様に社会福祉協議会のワーキンググループが作成した地域福祉活動計画素案について、分科会ごとに議論を行い、意見やアイデア等を出し合いました。

第10回地域福祉市民会議の内容

第10回市民会議は、9月11日(木)午後6時30分から8時30分頃まで、市役所3階31会議室において開催され、29人の市民会議委員にご出席いただきました。

今回の会議では、まず前回会議で事務局が提案した地域福祉(活動)計画全体のキャッチフレーズについて審議を行い、事務局案が承認されました。

その後、分科会ごとにグループ討議を行い、社協ワーキンググループが提案した「小地域単位の福祉の推進」「公益活動の推進」「ふれあい・いきいきサロンの推進」「要援護者を支援するネットワークの推進」「福祉学習の推進」の5つの重点活動について、意見や具体的な活動のためのアイデア等を出し合いました。

(当日の主な内容)

- 委員長あいさつ
- 地域福祉(活動)計画キャッチフレーズについて
- 本日举行うことの説明
- 地域福祉(活動)計画素案の審議(グループ討議)
- アドバイザーによる総括コメント
- 今後の予定について

第5回座長・副座長会議の内容

第5回座長・副座長会議は、9月29日(月)午後6時30分から8時30分まで、市役所2階21会議室において開催され、5人の座長・副座長さんが出席しました。

当日は、地域福祉(活動)計画体系案の最終調整を行った後に、次回の市民会議に提示する地域福祉(活動)計画素案の内容について意見交換を行いました。



(グループ討議の様子)



(熊澤先生のコメント)



(金井先生のコメント)

次回会議の予定

次回会議では、事務局でまとめた地域福祉(活動)計画素案について、全体討議を行う予定です。多くの貴重なご意見をいただきたいと考えておりますので、皆様の積極的な発言や提案をお願いします。

地域福祉(活動)計画キャッチフレーズが決定しました

㊦ すけあい ㊧ かわりあって ㊨ さえあう
㊩ ずなでつくる ㊪ あわせのまち

※ 第10回市民会議におけるアドバイザーの講評

熊沢先生の見解

- ・ 活動計画素案について、事前に目を通したうえで議論を進められたらよかったのではないかな。
- ・ 配布された資料の内容が、実際に活動を行う住民目線から乖離しているのではないかな(圏域など)。
- ・ この様な議論を踏まえて、地域福祉活動計画が充実されるとよいのではないかな。

金井先生の見解

- ・ 今回議論されていた地区社協とはどのような組織かな?
 - ① 補助金を配分してイベントや行事を行う団体、② (地域の団体をつなぐ) ネットワーク組織
 - ③ 日常の福祉活動(ちょっとした困りごと)を支援する組織、なのかな。
- ・ 地区社協の役割について、議論を深める必要がある。
- ・ 地域福祉活動計画とは、社協だけの計画ではない。当事者団体の活動の展開にあたり、社協はどうかかわり、ネットワークを組んで活動していきたいのか議論を進めたほうがよい。
- ・ 個人情報の収集や開示の手法についても、活動計画で住民に投げかけたらよいのではないかな。
- ・ 圏域については、地域福祉計画でも取り上げてほしい。例えば、民生委員の活動エリアは今のままでよいのか、人数が適当なのかについて議論したほうがよいのではないかな。